

ほけんだより

令和6年2月



知っておこう！ 発疹を伴う病気・・・

- 『うつる病気』・・・麻疹、風疹、水痘、突発性発疹、溶連菌感染症、手足口病、リンゴ病、川崎病など
『アレルギー』・・・蕁麻疹、アトピー性皮膚炎など
『血液の病気』・・・出血斑など

突発性発疹

- ・ヒトヘルペスウイルスによる感染症。
- ・生後6ヶ月頃から2歳未満に起こる。
- ・高熱が続く。
- ・解熱してから顔やお腹など全身に大小不規則な赤い発疹。

注意 急に高熱が出ることで、けいれんが現れることがあります。数分でおさまるので、落ち着いたら病院に受診しましょう。

手足口病

- ・コクサッキーウイルスによる感染症。
- ・手・足・口に水泡性の発疹。
- ・周囲が赤く米粒大から小豆大の水泡。
- ・ひざやお尻にも水泡。
- ・発熱。
- ・乳幼児によくみられる感染症。

りんご病（伝染性紅斑）

- ・ヒトパルボウイルスによる感染症。
- ・顔がりんごのように赤くなる。
- ・風邪に似た症状。
- ・腕や足やお尻に網目状の発疹。
- ・発熱や紅斑が見られる間は、自宅で安静にすることを勧めます。

溶連菌感染症

- ・溶血性連鎖球菌による感染症。
- ・突然高熱が出て喉が晴れ痛みを伴う。
- ・同時に全身に真っ赤な粟粒のような発疹。
- ・舌がイチゴ状の赤いブツブツ。
- ・抗菌薬を内服してから24～48時間は登園停止。
- ・その後、合併症である急性糸球体腎炎など起こしていないか、尿検査を定期的に行う。

川崎病

- ・4歳以下の乳幼児に見られる。
- ・全身の血管に炎症が起こる病気で原因は不明。
- ・5日以上続く高熱・目が充血・口唇の紅潮。
- ・舌にイチゴ状のブツブツが出来る。
- ・手やおしりや背中に不定形紅斑。
- ・手や足の指や首のリンパ腺の腫れ。

麻疹（はしか）

- ・麻疹ウイルス感染。
- ・高熱による風邪症状。
- ・一度解熱した後再度発熱し全身に発疹。
- ・口の中にコプリック班（白い斑点）。

風疹

- ・風疹ウイルス感染。
- ・麻疹よりも細かいピンク色の発疹。
- ・同時に熱が出る時もある。
- ・耳の後ろのリンパの腫れ。
- ・目が赤くなる。

水痘

- ・水痘・带状疱疹ウイルス感染。
- ・急な発熱。
- ・赤い小豆大の水泡。
- ・膿疱になり、かさぶたになる。

麻疹・風疹・水痘は予防接種があり、感染を防ぐことができます。



※お子様の発熱が続いたり、体調がよくならない時は、小児科を受診するようにお勧めします。お子様の症状に合わせて、専門医を受診しましょう。

※感染症には「おしらせ」の用紙を提出して登所してください。

